



令和元年8月29日
中部地方整備局
港湾空港部

日本のものづくりと経済を支える伊勢湾沿岸の今後の防災のあり方を議論！ ～伊勢湾台風来襲60年を契機に来たるべき災害への備えを～

伊勢湾沿岸に甚大な被害をもたらした伊勢湾台風の来襲から9月26日(木)で60年となります。あれから60年、伊勢湾沿岸は高度な産業・物流が広域に集積し、中部地域、そして我が国のものづくりと経済を支える地域に発展しました。台風による暴風・高潮及び切迫する南海トラフ地震・津波等の大規模・広域災害が懸念される中、伊勢湾沿岸が将来にわたりその機能と役割を果たせるよう、防災対策のあり方や今後の取り組みについて考える「伊勢湾台風60年沿岸防災シンポジウム」を9月29日(日)に開催します。

1. 概要

件名：伊勢湾台風60年沿岸防災シンポジウム

日時：令和元年9月29日(日) 13:30～16:00

場所：名古屋コンベンションホール 3階(中会議室301・302)

内容：

- ・基調講演「伊勢湾における沿岸防災を進めるために」

名古屋大学大学院教授 水谷 法美 氏

- ・パネルディスカッション

「産業・物流が集積する港湾における今後の沿岸防災対策のあり方」

2. プログラム

- ・添付資料参照

3. 参加方法

- ・シンポジウムへの参加希望の方は添付資料に従い、申し込みをお願い致します。

※参加費無料

※先着150名(事前申し込み制)

4. 取材

- ・取材を希望される方は別紙により9月20日(金)12時までにFAXにて申し込みをお願い致します。
- ・カメラ撮影等の取材について制約は考えていませんが、取材の際には、報道機関名が分かる取材者証(腕章)等の着用をお願い致します。
- ・当日は、会場前の受付にて手続きをお願い致します。
- ・コーディネーター及びパネリストへの個別取材についてはご遠慮願います。

5. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、名古屋港記者クラブ、三重県政記者クラブ、四日市市政クラブ、四日市港湾記者クラブ、津市政記者クラブ、豊橋市政記者クラブ、半田記者クラブ、碧南市政記者クラブ、港湾新聞社、港湾空港タイムス、日本海事新聞社、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

問い合わせ先

中部地方整備局 港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課 山口、宮原

電話：052-209-6328 FAX：052-209-6334

国土交通省 中部地方整備局
港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課 宛

取材申込書
(FAX:052-209-6328)

申込締切 : 令和元年9月20日(金) 12:00必着

所 属	会社名 : _____ 部署名 : _____
取材者	代表者氏名 : _____ 役職 : _____ 他()名
連絡先	TEL : _____ メールアドレス : _____ (任意)

※取材をご希望の場合は、本紙に必要事項をご記入のうえ、9月20日(金)12時までにFAXにて申込をお願いします。

※カメラ撮影等は自由です。なお、取材の際は、報道機関名がわかる取材者証(腕章)等の着用をお願いいたします。

※当日は、会場前の受付にて手続きをお願いいたします。

伊勢湾台風60年 沿岸防災シンポジウム

伊勢湾台風及び平成30年21号台風による高潮被害並びに切迫する南海トラフ地震・津波を踏まえ、中部地域のものづくりを支える産業・物流が集積する伊勢湾沿岸における防災対策のあり方や今後の取組について考えていきます。

入場無料



日時 令和元年9月29日(日)

13:30~16:00(開場12:30)

場所 名古屋コンベンションホール
3F(301・302中会議室)

名古屋市中村区平池町4-60-12 グローバルゲート

定員 150人

(申込先着順で定員になり次第締め切らせていただきます)

●本シンポジウムは、(一社)建設コンサルタント協会CPD及び
全国土木施工管理技士会CPDSの認定プログラムです。

※災害発生等により、止むを得ず中止する場合は前日15時までに国土交通省
中部地方整備局ホームページ(<http://www.pa.cbr.mlit.go.jp/>)にて掲載します。

主催:国土交通省 中部地方整備局

(事務局:港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課)

後援:愛知県、三重県、名古屋港管理組合、四日市港管理組合、名古屋商工会議所、

(一社)中部経済連合会、名古屋港運協会、(一社)日本埋立浚渫協会、

(一社)海上起重技術協会、中部港湾空港建設協会連合会、全国浚渫業協会、

(一社)日本潜水協会、(一社)海洋調査協会、(一社)港湾技術コンサルタント協会

●出演者プロフィール



水谷 法美 みずたに のりみ

<名古屋大学大学院工学研究科・教授>

工学博士、専門は海岸工学、海洋工学、水工水理学
名古屋大学助手、同大学院助教授を経て平成14年より現職
所属は工学研究科土木工学専攻、減災連携研究センター教授を兼職
名古屋大学大学院卒、三重県出身



富田 孝史 とみた たかし

<名古屋大学大学院環境学研究科・教授>

工学博士、専門は防災工学、海岸工学、名古屋大学助手、講師、
(独)港湾空港技術研究所高潮津波研究室長、
海洋情報・津波研究領域長を経て平成28年より現職
名古屋大学大学院卒、愛知県出身



一柳 尚成 いちりゅう ひさなり

<トヨタ自動車株式会社 物流管理部 部長>

TOYOTA MOTOR THAILAND社へ出向、トヨタ自動車株式会社
生産部品物流部物流技術室 室長、生産管理部生産調査室主査を
経て平成28年より現職
東京理科大学卒、愛知県出身



高橋 昭彦 たかはし あきひこ

<伊勢湾海運株式会社 常務取締役>

海運事業部コンテナ課、総務部総務課長、総務部長、執行役員
総務部・内部統制室・AEO管理室担当、常務執行役員
総務部・内部統制室・AEO監理室管掌を経て平成30年より現職
愛知学院大学卒、愛知県出身



松村 崇行 まつむら たかゆき

<名古屋地方気象台長>

気象庁数値予報課予報官、札幌管区気象台予報課長、
気象庁予報課気象防災推進室長、大阪管区気象台気象防災部長、
気象庁数値予報課長等を経て平成30年より現職
東北大学大学院卒、埼玉県出身



豊田 正博 とよだ まさひろ

<愛知県建設局 技監>

愛知県環境部資源循環推進課、愛知県建設部港湾課主幹、
港湾課長、港湾事業推進監等を経て平成31年より現職
岐阜大学卒、愛知県出身



田中 知足 たなか ともゆき

<中部地方整備局 港湾空港部長>

運輸省第五港湾建設局企画課、同省大臣官房文書課専門官、
国土交通省航空局関西国際空港・中部国際空港監理官付課長補佐、
同省港湾局海洋・環境課海洋利用開発室長等を経て平成29年より現職
東京工業大学大学院卒、千葉県出身

●プログラム

12:30 受付

13:30 開会・主催者挨拶

13:35 来賓挨拶

13:50 基調講演

「伊勢湾における沿岸防災を進めるために」

水谷 法美 名古屋大学大学院教授

14:30 パネルディスカッション

「産業・物流が集積する港湾における
今後の沿岸防災対策のあり方」

コーディネーター:水谷 法美 名古屋大学大学院教授

パネリスト:富田 孝史 名古屋大学大学院教授

一柳 尚成 トヨタ自動車株式会社 物流管理部 部長

高橋 昭彦 伊勢湾海運株式会社 常務取締役

松村 崇行 名古屋地方気象台長

豊田 正博 愛知県建設局 技監

田中 知足 中部地方整備局 港湾空港部長

16:00 閉会

伊勢湾台風60年 沿岸防災シンポジウム 参加申込書

●参加ご希望の方は、必要事項をご記入の上、FAXまたはメールで下記までお申し込み下さい。

FAX ▶ **052-209-6334**

Email ▶ **pa.cbr-bouki@mlit.go.jp**

お申込先：国土交通省 中部地方整備局 港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課 宛

組織名

Emailアドレス

電話番号

FAX番号

氏名

役職

●お申込締切日：令和元年9月18日(水)●

申込先着順で定員150名になり次第締め切らせていただきます。

シンポジウム会場案内

名古屋コンベンションホール
3F(301・302中会議室)
名古屋市中村区平池町4-60-12 グローバルゲート

[会場へのアクセス]

あおなみ線「ささしまライブ駅」下車スグ
JR「名古屋駅」広小路口から徒歩12分
さしまウェルカムバス「グローバルゲート南」下車スグ



お問い合わせ

国土交通省 中部地方整備局 港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課
宮原、藤田 **TEL:052-209-6328**